

## ドキドキ！くれよん！

### ①やってみたい！

今月は六甲道南公園へ出掛けました。公園に到着すると、すぐにカラフルな遊具を見つけ、一目散に駆けていきました。小学校低学年向けの遊具にも「やってみたい！」と果敢に挑戦したり、マリオになりきりゴールを目指したり、思い思いに遊びました。午前中は日差しが強く、既に汗をかくメンバーもおられました。遊具を一通り楽しみ、次は遊具横の砂場で造形遊びが始まりました。



### ②どろんこでもへっちら！

砂場遊びでは山や川、お城など次々に完成させておられました。数に限りがあるスコップを「どうぞ！」「ありがとう！」と言葉に出し、上手に貸し借りする姿に感心しました。「白い砂の中に茶色の砂が隠れている！」と色の変化に興味を示したメンバーの言葉から、白色の山と茶色の山づくりへと遊びが展開し、リーダーも含めみんなで熱中していました。



### ③一緒に遊ぼう！

天気が下り坂という予報が出ていたので、少し早めにお弁当を食べ、遊びの続きをしました。砂場遊びで仲良くなった4人は、そこから何をすることも影響し合っていました。かけっこをしたり、かくれんぼをしたり、4人で一つの遊びを楽しんでおられました。また、「次の鬼は誰がする？」と自分達で決めて遊びを進める事もできており、遊びを通して関係性が深まる様子が見られました。

### ④力を合わせよう！

休憩後は砂場遊びを再開しました。“穴に水を溜める”という目標に向かって、試行錯誤しながら遊びました。砂が水を吸う様子を「水が消えた！」と驚いた表情で見つめ、ペットボトルやビニール袋を使い、懸命に頑張っておられました。「〇〇持ってくるね！」「じゃあその間は見張りをしておくね！」と声を掛け合い、時間の許す限り、夢中で遊んでおられました。また一緒に遊ぼうね！



今月は初参加メンバー4名での活動でした。最初は同じ遊びをしていても2名ずつに分かれて遊ぶ様子が見られましたが、少しずつ距離が縮まり、午後からはみんなで一緒に遊ぶ姿が見られました。距離が縮まる過程の中では“友達の様子を見る”という行動が大きく影響したのかなと感じました。道具が無くて困っている友達に気づいたり、友達の真似をしたり、「よく見ているなあ〜。」と感じられる瞬間が沢山ありました。これからも友達から新しい刺激を貰い、その事について自分で考えながらできる事を広げていければと思います。  
(生本 ひろみ)